



『就職活動プログラム』をリリース！

障がい者雇用における就職活動の考え方や取り組みについての新メニューです。

プログラム概要

- ▶ 障がい者雇用の現状、就職活動の考え方・取り組み・心構えなどについて順を追ってわかりやすく説明！
- ▶ ご利用者様のサポート時にご活用いただける「職員用手引書」をダウンロードしてご利用ください。
- ▶ 本プログラムはknowbeが独自で作成したものであり、knowbeが推奨する考え方として提供しております。

1

- 1～3章それぞれの章に対応する職員用手引書をダウンロードいただけます
- 職員用画面でのみ表示されます
- 利用者様が本プログラムに取り組む前に、2の利用者用プログラムと合わせて予めご一読されることをおすすめ致します

2

- 1～3章は利用者プログラムであり、利用者用画面でも同様のものが表示されます
- 読み進めながら、実際に履歴書・職務経歴書の作成も実践いただけます
- 自主学習でもグループワークでもご活用いただけるものとなっています

<職員用画面>



【職員用】就職活動プログラム

1

はじめに

進捗 100%

職員用手引書

▶ レッスンを選ぶ

2

1章

進捗 0%

就職活動についてはじめて知っておこう

▶ レッスンを選ぶ

2

2章

進捗 0%

履歴書の書きかた

▶ レッスンを選ぶ

3

3章

進捗 0%

職務経歴書の書きかた

▶ レッスンを選ぶ



『就職活動』プログラムをリリース！ 各種画面例をご参照ください。

『就職活動についてはじめて知っておこう』

■障がい者枠の就職活動

障がい者枠の就職活動は、一般の就職活動と少し違いがあります。

- ①求人数が限られるので、業界や職種をあまりしぼりこまない方がよい
- ②面接の回数や時間が少ない
- ③職歴や業務スキルよりも、まずは「安定就労」力が求められる
- ③のためにも、就労移行支援施設で行うトレーニングはとても重要だということです。トレーニングの内容・成果が、そのまま就職活動に活かされるからです。

安定就労力が求められる



障がい者雇用の考え方や就職活動の流れ・心構えなどについて

『職務経歴書の書きかた』

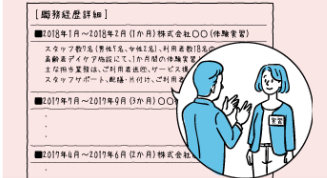
■障がい者雇用における職務経歴書

一般の就職・転職では、職務経歴書がもっとも重視されますが、障がい者枠では重要度が少し下がります。

その理由としては、「ブランク（離職期間）の長さ」があります。ブランクが一年以上にわたるなら、キャリアが中断されているということで、前職での経験があまり参考にならないと考えられることが少なくありません。

しかし、その期間に、就労のためのトレーニングをしっかりと積んだのであれば、それはプラス材料になります。
トレーニングの内容や、体験実習の状況を書くことで、立派な「経歴」とすることができま

体験実習やセルフケアについて



また、「自分トリセツ」「自己PR」を詳細に書くことで十分カバーできると思います。

※ 障がい者雇用における職務経歴書の書きかたをワーク形式で

『履歴書の書きかた』

履歴書には、自分の趣味や特技のほか、どんなことを経験してきたのか、なぜその企業を志望したのか、といったことも記載します。

また、障がい者枠の場合、自分の障がいについても記載したほうがよいでしょう。手帳の種類、診断名、通院や服薬の状況など、自分の障がいの情報について正確に記載します。

障がいについても記載しよう



障がい者雇用における履歴書の書きかたをワーク形式で

『各種職員用手引書』

就職活動

1章 就職活動についてはじめて知っておこう

職員用手引書

目次

- ・この手引書について
- ・knowbe「就職活動」の基本姿勢
- ・支援者は何を支援するか
- ・利用者は何をめざすのか～セルフケアについて
- ・どのような企業に入社してほしいか
- ・業界や職種をしぼりこみすぎない
- ・就職活動期間中に気をつけること
- ・内定がなかなか取れない場合は
- ・気持ちを切り替えて、前向きに取り組む

履歴書の書きかた

職員用手引書

目次

- この手引書について
- このプログラムについて
- プログラムの流れ

職務経歴書の書きかた

職員用手引書

目次

- このプログラムについて
- ワークの流れ

職員様用の手引書をダウンロードしてご活用ください

本プログラム内で言及されている『自分トリセツ』や『自己PR』の書きかたも順次リリース予定です！